

防災ワークショップ2（山陽小野田市出合地区）

参加者
募集
チラシ

「記憶」から「記録」へ
GISの「記録」を活用し、
地域の防災を考えよう
（一次避難所、避難経路、
避難時要支援者マップ等）

（写真）山陽小野田市提供

これまで地域で行われていた防災図上訓練（DIG）は、大判地図をベースとした紙で行われていました。しかし、紙は「記憶」に終わり、その後に活動に生かしづらい、という現状があります。

そこで本法人では、GIS（地理情報システム）を活用し、この「記憶」を「記録」に変えることができないか、もっと地域防災に生かせないか、昨年度より実証事業を行ってきました。結果、昨年8月17日に実施したワークショップでは、防災GISアプリを活用することで、パソコンが苦手な方においても、地域の危険箇所を「記録」することができ、ハザードマップ（国土数値情報：国交省のオープンデータ）と重ね合わせることで、独自の地区ハザードマップを作成いたしました。

本ワークショップは、この危険箇所情報をさらに生かすべく、一次避難所、避難経路、避難時要支援者等をGISに搭載することにより、さらに地域防災に役立つ独自のハザードマップ作りにチャレンジします。この機会に、ぜひご参加ください。

開催日時

2020年1月18日(土) | 集合13:30～解散16:30（受付13:00）

集合場所

厚狭公民館（〒757-0005 山口県山陽小野田市大字鴨庄9 4）

募集人数

20名程度 ※参加費無料、PC準備不要（GISはスタッフが操作します）

主催

一般社団法人やまぐちGISひろば

後援

山陽小野田市、山陽小野田市立山口東京理科大学

協力

山陽小野田市防災士 有志

講師

大伴真吾@（一社）社会基盤情報流通推進協議会

公益財団法人
山口きらめき財団
YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

この事業は山口きらめき財団の助成金を活用しています

プログラム

- 13:30～14:00 開会あいさつ～オリエンテーション（進行説明）
- 14:00～14:30 GISを使った地域の危険箇所説明
（旧版地図、ハザードマップ、まち歩きで取得した危険箇所、他）
- 14:30～15:30 グループワーク ※一次避難所、避難ルート、避難時要支援者などの作成
- 15:30～16:00 グループ発表
- 16:00～16:15 講師よりQGIS活用事例紹介（大伴真吾@（一社）社会基盤情報流通推進協議会）
- 16:15～16:30 閉会挨拶 ～ 解散

ワークショップ対象範囲 （黄色の2箇所：案）



問い合わせ

一般社団法人やまぐちGISひろば
事務局 弘中、藤本

✉ info@yamaguchi-gis-hiroba.org
☎ (0836) 45-3042
☎ (0836) 44-1173



申込内容

▼ご記入の上、E-Mail(またはFAX)でお知らせください。
(申込締切1/10まで)

連絡窓口 氏名			連絡窓口所属 (会社/自治会等)		
連絡窓口 TEL			連絡窓口 E-Mail		
参加者名	よみがな	所属(会社/自治会等)			
参加者名	よみがな	所属(会社/自治会等)			
参加者名	よみがな	所属(会社/自治会等)			

注意事項

掲載内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。